

(3) 広島・島根県下花崗岩類の 時代に関する資料

広島大学理学部地質学鉱物学教室

吉田博直・小島丈児

I 広島・島根県下の花崗 岩類の分帯と特徴

広島以東の山陽地方と山陰地方各地には広く花崗岩ないし花崗閃緑岩質深成岩が分布し、両者に夾まれた中間の中国山地内部は主として石英斑岩類からなり、閃緑岩質岩類を伴う花崗岩質の小貫入岩体が散在している。

これらの花崗岩類の時代、貫入条件、相互関係については不明な点が多いが、便宜上、その分布範囲に従って、それぞれ、広島花崗岩類・中間帯花崗岩類・山陰花崗岩類と呼ぶことにする。これら花崗岩類の分布と特徴を次に略記する。

A 山陰花崗岩類 山陰花崗岩類は閃緑岩質から花崗閃緑岩・花崗岩をへて半花崗岩質におよぶかなり多様な岩型よりなり、内部は比較的不均一である。

B 中間帯花崗岩類 閃緑岩質岩を伴い、石英斑岩地域に点在し、小規模な岩株をなす。広島県下における分布は北から、広島県比婆郡下高野山村新市・比婆郡口北村宮内・三次市南方・高田郡井原村・高田郡高南村に分布する。

C 広島花崗岩類 黒雲母花崗岩を主体とする比較的均一な岩相を示し、閃長岩、其の他の岩脈の発達が著しい。

II 地質時代に関する資料

A 山陰花崗岩類によって貫入された前石英斑岩の花崗岩がある。島根県大原郡大東町

大東鉦山附近には諸種の花崗岩類が分布し、それらの中で最も古い優白質粗粒の蓮花寺花崗岩（片麻岩状捕獲岩を含む）が、シャープに石英斑岩に切られているのが見られる。この石英斑岩は大原郡海潮村塩田において、大内谷花崗岩によって接触熱変成作用を受けている。

B 山陰花崗岩類と中間帯花崗岩類との関係 中国脊陵山脈にそい分布する石英斑岩類によって両者の分布地域が隔てられていて、直接の接触関係を見ることができず、従って前後関係は不明である。

C 中間帯花崗岩類と広島花崗岩類との関係 中間帯花崗岩類は、広島県高田郡井原村・高南村において、広島花崗岩類に貫ぬかれている。

〔広島県高田郡高南村・井 原村附近の地質〕

本地域には、古生層・角閃石岩・玢岩類および石英斑岩類を貫いて花崗岩類・閃緑岩質岩が分布する。

a 中間帯花崗岩類

1 志屋花崗岩および閃緑岩質岩 志屋花崗岩は、稀に角閃石を有するやゝ斑状の黒雲母花崗岩で、東西方向に延長したレンズ状の岩体である。志屋花崗岩は井原村石井・荒谷山間においては石英斑岩を、志屋村土井においては輝石玢岩を、その他の地区では古生層を貫いている。

井原村小田北方・志屋村奥谷では、志屋花崗岩中に閃雲石英閃緑岩が、この花崗岩に貫ぬかれて島状に存在する。

2 日浦角閃花崗閃緑岩 本岩体は比較的均一な岩相を示し、周辺に多数の鉱床を伴っている。高南村日浦東方の山腹において、志屋花崗岩と同一の時期と考えられる花崗斑岩を切っており、かつ、志屋花崗岩の南縁部が著しい熱変成作用を受けて、黒雲母が細粒化していることから、日浦角閃花崗閃緑岩は志屋花崗岩より後期のものと考えられる。

b 広島花崗岩類と日浦角閃花崗閃緑岩との関係

高南村以南には、広島方面にまで連続して黒雲母花崗岩を主体とする広島花崗岩類が広く分布している。この花崗岩は高南村日浦南方において、次のような関係で日浦角閃花崗閃緑岩に接している。広島花崗岩は、日浦角閃花崗閃緑岩に近づくと次第にその粒度が小となり、接触部から数 m は半花崗岩質となる。日浦角閃花崗閃緑岩は幅 10cm ないし 30cm 程度の半花崗岩のやゝ不規則な岩脈に貫かれ、半花崗岩々脈中に捕獲岩状に存在す

る。

D 石英斑岩の問題

a 石英斑岩類は、山陰花崗岩類および広島花崗岩類のルーフをなす。

山陰花崗岩類の南縁と石英斑岩類との接触部は、島根県仁多郡八川村坂根・同仁多郡阿井村内谷・同飯石郡頓原町南方と連続的に追うことができ、石英斑岩類は花崗岩類によって、著しい熱変成作用を受けている。

広島花崗岩類の北縁と石英斑岩類との接触部は広島県山県郡戸河内町・広島県安佐郡可部町北方・同賀茂郡志和堀村と、連続的に追うことができ、石英斑岩類は広島花崗岩類のルーフとして存在する。すなわち、山陰花崗岩類・広島花崗岩は、いずれも、硯石層群の上位にくる石英斑岩類よりも新期のものである。

b 石英斑岩類は細粒の周辺相より花崗斑岩にまで連続的に変化するが、花崗岩に漸移するのは見られず、花崗岩とはシャープな境界をもつて接し、一方花崗岩類は如何に細粒化しようとも石英斑岩のような周辺相を形成することはない。

質 疑 応 答

有 田 (金沢大) syenite の岩脈について

吉 田 石英を含まぬ syenite の岩脈は広島花崗岩の中にあり 10m から数 10m の dyke 状の産状を示す。

唐木田 (九 大) 領家変成帯のなかに広島花崗岩は全然ないか。

小 島 領家と広島は岩質で区別し、その差異ははつきりしている。dyke rock も別の型である。

唐木田 中間帯と山陰花崗岩は似ているか。

吉 田 大体似ている。蓮華寺のものはとくに古いものと考え山陰に入れない。

坪 井 (岡山大) 領家の北限の意味及貫入以前の状態について。

小 島 柳井一小豆島一芦屋の近くまで追跡している。二つの花崗岩は時代がちがう。両者の境は変成古生層と未変成古生層である。和泉砂岩は領家変成帯と考える。